

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 9日 更新

事務事業名		工業団地整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	後藤 章博
	施策	28	企業誘致の促進と働く場の確保			所属課	商工振興課	担当者名	本田 千晴
	施策の柱	74	企業誘致の促進			所属班	企業立地支援班	(内線)	5214
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 3	事業連番 11720	根拠法令		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 29 ~ 8 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域経済の活性化および雇用の創出を目的として、工業団地の新設を行なう。 栄第二工業団地をH30から整備開始し、R2に分譲しR3に完売した。 その他、セミコンテクノパークに西側に、(仮称)東部工業団地の整備計画を進めており、【R元】適地選定・基本計画、【R2】基本設計、農村産業法に基づく実施計画策定、【R3】測量、【R4】不動産鑑定、地質調査を行なった。 今後はR6の造成、R7の分譲を目指し、R5に用地買収、損失補償鑑定、詳細設計や地区計画策定等を実施予定。
【業務の流れ】	工業用適地選定(地理的条件、法的規制条件、周辺インフラ、用地取得条件等を勘案)、基本計画策定、基本設計、土地鑑定評価、用地買収、実施設計、地質調査、測量、地区計画策定・開発許可申請、造成工事、分譲
【主な予算費目】	委託料、工事費、人件費、需用費、公有財産購入費
【意見や要望】	企業から整備された市有の工業団地に関する問い合わせが多い

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
予算及び実績なし	全地権者の承諾を得られた場合、土地の売買仮契約、仮登記を行い、地権者に手付金を支払う。また、工業団整備のための詳細設計、地区計画策定業務を工業団地特別会計事業で実施する。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
ア 調査・計画から分譲にかかる委託数		市営工業団地整備に伴う用地交渉等の時間外手当の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 箇所	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
工業団地候補地		ア 工業団地候補地
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) ha	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
工業団地として整備され、分譲できるようにする。		ア 整備面積
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
安定して働ける。		全体計画 ~ 8年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
①活動指標	件		0	0	0	0	1	1	1	1
②対象指標	箇所		1	1	1	1	1	1	1	1
③成果指標	ha		0	4	10	0	10	10	10	10
投資入費量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円	7,169							
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円					511			
	(A)事業費計	千円	18,122	9,075						
	(A)のうち指定経費	千円	25,291	9,075	0	0	511	0	0	0
(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	4	4	0	3	0	0	0	0
	延べ業務時間	時間	1,000	600	0	1,350	0	0	0	0
	(B)人件費計	千円	3,943	2,346	0	5,138	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	29,234	11,421	0	5,138	511	0	0	0

事務事業名	工業団地整備事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 予算、実績なし
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 工業団地整備計画について、丁寧に関係者協議を行ない基本設計を進める。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 工業団地整備を行っている事業は他には無い。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 常に事業費の精査を行っており最低限必要な手続きにより事業を進めている。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 開発にかかる諸手続きに必要な業務は外部委託しており、地権者との交渉は市が直接行うべきである。(最小の人員で担当しており、削減余地はない。)
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 工業団地整備にかかる費用は分譲価格に含んで企業へ売却するため、適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の企業誘致事業として取り組んでおり、適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

半導体関連企業を中心に本市へ立地希望する企業からの問合せも多いことから、本市経済を安定して牽引するような企業を工業団地に誘致できるよう、立地の受け皿となる市営工業団地整備を行う。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						